

会 議 録	
会 議 名	令和 7 年度第 4 回丸亀市立学校適正配置等検討委員会
開 催 日 時	令和 8 年 1 月 2 9 日 (木) 午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 3 0 分
開 催 場 所	丸亀市役所 特別会議室
出 席 者	出席委員： 漆原 光徳・植田 和也・國木 良輝・平田 貴久 岩崎 正朔・吉利 俊弘・河野 恵・樋口 倫 秋山 弓美・香川 真実・金澤 泰宏・長谷川 晃 池田 智香子（敬称略） 欠席委員： 真鍋 真紀・嵯峨根 真千子（敬称略） 事務局： 末澤教育長・山下教育部長・岩井学校教育課長・真鍋市長公 室政策課長・吉田協働推進部地域づくり課長・土井教育部総 務課長・後藤教育部総務課副課長・今井学校教育課副課長・ 高木学校教育課指導主事・遠藤学校教育課指導主事
傍 聴 人	0 名
次 第	次 第 1 開会 2 教育長あいさつ 3 議事 （1）答申（案）についての協議 （2）次回検討委員会についての確認 4 事務連絡 5 閉会
事務局  教育長	それでは、本日参加予定の方が皆さんそろいましたので、ただいまから第 4 回丸亀市立学校適正配置等検討委員会を開催いたします。 それではまず初めに教育長が挨拶申し上げます。  皆さんこんにちは。最初にお礼を申し上げたいと思います。大変ご多用の中、本会にお集まりをいただきまして本当にありがとうございます。 この会も本日で 4 回目を迎えます。これまでそれぞれの立場から、様々なご意見を賜りました。ご意見をお聞きする中で、これは規模とか配置とかというどちらかという環境の面からのお話でございました。でも、根底には、これからの社会を生きる子どもたちのためにどのような環境を、また、どのような力を身につけさせなければいけないのかというご意見をたくさん賜ったなど感じておるところです。 第 1 回の冒頭に私の方から、丸亀市の現在の取り組みについて少しお話をさせていただきました。皆様のご意見を賜る中で、これから丸亀市が取り組んでいこうとする方向性は、決して間違っていなかったという、心強い思いを抱いたところでございます。 また、委員の皆様と目指すところが共有できているということも感謝申し上げます。多くの方々が丸亀市の教育を支えてくださっていることを感

	<p>じたところでございます。</p> <p>本日は、これまでのご意見をまとめたものに、ご意見を賜ればありがたく存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>では、議事の進行を漆原会長様、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>委員の皆様、本日もよろしくお願いいたします。</p> <p>お手元に資料があるかと思いますが、前回の検討委員会におきまして、適正規模、適正配置に焦点を当てて協議をいたしました。委員の皆様方からいただきましたご意見を踏まえ、事務局が答申案を作成しております。</p> <p>本日、お手元の会議次第にありますように、この答申案につきまして委員の皆さんで協議をしていきたいと考えております。</p> <p>なお協議にあたり、事務局から事前に第 3 回の会議録を送っていただいています。今まで皆様からいただいたご意見なども参考にしながら、本日は検討をしていければと思っております。</p> <p>それではお手元の資料、「丸亀市立学校適正配置等に関する答申書（案）」をご覧ください。まずは事務局の方から、答申案につきましてご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>私から、答申書案についてご説明いたします。</p> <p>本答申書案は、これまでに行われました、適正配置等検討委員会にて、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて作成したものです。</p> <p>初めに答申書案を読ませていただき、その後少し説明させていただきます。</p> <p>1、基本的な考え方について</p> <p>学校教育の果たすべき役割は、健全な人格形成を目指し、その基礎として必要なものを学び、豊かな人間性や社会性を育むことである。これからの社会を生きる子どもには、集団での教育を通して異なる価値観をもつ多様な他者と対話を行うことで、問題を発見・解決できる持続可能な社会目の社会の担い手となることが求められている。急激な少子化と人口減少に伴い、学校の小規模化が進行しており、学校教育が果たすべき役割の根底となる「集団教育」の維持及び継続は喫緊の課題となっている。</p> <p>このような状況に鑑み、本委員会では、児童生徒の教育的観点を最も重視し、議論を進めてきたところである。そこで、貴教育委員会におかれては、今後、本答申に示す適正規模・適正配置の考え方を尊重され、安定した教育環境の実現のための適正配置に努められたい。</p> <p>2、丸亀市立学校の適正規模について</p> <p>自分の考えを深め、自身の資質・能力を伸ばしていくためには、児童生徒が集団のなかで、友だちの多様な意見に触れることが大切である。その実現のためには、学級内で複数のグループ編成が可能となる規模やクラス替えが可能な規模を確保し集団での学校生活を維持することが望ましい。</p> <p>そこで、本市の適正な学校規模として、小学校、中学校ともに、1 学年 2 学級以上、また、適正な学級規模としては、小・中学校ともに、1 学級 20</p>

名以上が望ましいという結論に至った。

### 3、丸亀市立学校の適正配置について

学校の再編整備にあたっては、前述のように、適正な規模を確保することが大切である。そのうえで、通学距離や地域の特性等を考慮した適正な配置が望ましいという結論に至った。そこで、以下の3点に留意することを提言する。

#### (1) 安全な通学環境について

学校の再編整備にあたっては、児童生徒の安全な通学環境を確保することが大切である。そこで、文部科学省の基準を踏まえ、通学距離を「小学校4キロメートル、中学校6キロメートル」、通学時間を「概ね1時間以内」が望ましい。さらに、通学距離が「小学校で(2.5)キロメートル、中学校で( )キロメートル」、通学時間が「小学校で(40)分、中学校で( )分を超える場合には、通学の支援を講じることで、児童生徒の通学における負担を軽減するよう配慮されたい。

#### (2) 地域と学校のあり方について

学校が地域コミュニティの核であり、地域の象徴的存在であること、学校は街づくりやふれあいの拠点であることなどを考慮したうえで、適正配置を推進するよう配慮されたい。

#### (3)、島しょ部の学校について

島しょ部の学校は、小規模のメリットを生かした教育の提供により教育環境の維持が図られていることや地理的環境及び通学環境の観点から、島しょ部の学校の再編整備にあたっては、地域性を十分に考慮されたい。

### 4、付記事項

丸亀市の児童生徒数は、地域によって異なるものの、全体的には減少傾向にある。そこで、本答申の内容を踏まえ、今後、学校再編に向けた具体的な検討を速やかに進められたい。

続いて3ページ目をご覧ください。こちらには、委員の皆様のお名前と、検討委員会の開催状況を記載しております。こちらにつきましては、説明を割愛させていただきます。ここで本答申案について一部補足させていただきます。

「3、丸亀市立学校の適正配置について (1) 安全な通学環境について」をご覧ください。ここでは、学校再編にあたって、適切な通学距離や通学時間について説明しています。

第3回の検討委員会では、児童生徒の登下校について、文部科学省が示している小・中学校それぞれの基準を踏まえつつ、具体的に通学距離が一定距離以上ある場合や、通学時間が一定時間以上かかる場合は、通学支援が必要であるのではというご意見をいただいていたかと思えます。

小学校については、前回の検討委員会にて、具体的に出た2.5キロメートル及び40分を記載していますが、数字の妥当性については、検討委員会で協議がなされていないので括弧書きで表記しています。

	<p>また、中学校については、距離、通学ともに今まで協議が行われておりませんので空欄にしております。</p> <p>この後の協議において、ここに記載されている小学校の距離の時間が適切であるか。また、中学校の通学支援の必要な通学距離や通学時間について、ご意見をいただければと思います。</p> <p>以上が答申案についての説明です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま、答申案をもとにご説明いただきました。この後、この1から4までを個別に協議していきたいと思っています。まずは、全体を通して委員の皆様から何かご意見、ご質問等ありましたらいただき、その後1から4、1つずついきたいと思いますがいかがでしょうか。全体的なところよろしいでしょうか。はい。それでは、全体的なところはないようですので個別1つずつ見ていきたいと思っています。まず「1、基本的な考え方について」の部分、いかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>1のことなのですが、基本的な考えはよろしいかと思っています。4行目に持続可能な社会の「担い手」と書かれていますが、確か国の中央教育審議会等では、「担い手」から「創り手」というふうに変わってきています。今の若者・子どもたちが社会をつくっていくんだということで、多分意図はあると思います。「担い手」でも何ら構わないと思うんですが、持続可能な社会の「創り手」にしてはどうかと思いました。</p> <p>もう1点、3行目では「集団での教育」とあるんですが、6行目のところでは、括弧書きで「集団教育」となっています。「集団教育」というのは、戦後、いろいろな解釈があるので何か誤解を受けないかと思いました。集団を作る教育をするのではなくて、一人一人の人間性や違い、多様性の包摂というような今後の方向があると思います。例えば、一定規模の集団による教育とか、集団の中での教育という集団教育そのものをするのではないということで、誤解を招かないほうがいいかなと思いました。以上です。</p>
会長	<p>非常に重要な点だと思います。用語について検討をしていただければと思いますが、いかがでしょうか。関連して何かございますか。或いは事務局、何かコメントあれば頂戴したいと思います。どうぞ教育長。</p>
教育長	<p>集団教育については、今、委員がおっしゃった通り訂正の方向で考えます。委員の皆様のご意見を賜ればありがたいと思います。</p>
会長	<p>ということで訂正の方向だということですが、いかがでしょうか。委員の皆様よろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。どうぞ。</p>
委員	<p>非常にわかりやすい基本的な考え方だと思います。この学校適正配置検討委員会の本来の目的は、第1回目のときに決して統廃合が目的じゃないというお話があったと思います。小・中学校、いわゆる学校課題、教育課題</p>

	<p>解決に向けての望ましい教育環境を作っていくなど、先ほど教育長さんのお話もあったんですが、その部分が一番大事なということで、非常に明快に書かれていると思いました。</p> <p>言葉なんですけど、「1. 基本的な考え方」の最後のところに、「安定した教育環境の実現」と書かれている。結構かなと思うんですけど、国が示す適正配置のところで使われている言葉は、それを包括した「望ましい教育環境の実現」という表現がされていたと思うんです。大した違いではないんですけど、「望ましい」、「安定した」、どの言葉を使うかというところは、非常によく考えて作られているのかなと思いましたので、ご意見いただけたらありがたいなと思います。</p> <p>丸亀市の小・中学校いろんな学校規模、地域の特性などいろいろご意見いただいて私もそうだなというに思いました。学校の現状に応じた最適解を導き出していくための適正規模・適正配置という考え方なので、そういった言葉がどこかにあったらいいかなという感想でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今ご指摘の文言も、検討を加えてということにさせていただければと思います。他にございますでしょうか。</p> <p>本日ご意見いただいて、もう一度文章を練り直して、次の2月の回で最終案になっていくと思いますので、何かお気づきの点あれば、ご意見いただければと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>もしまた後でお気づきの点ありましたら、全体を振り返りたいと思います。それでは「2. 丸亀市立学校の適正規模」についていかがでしょうか。ご意見ありましたらお願いいたします。ここでは具体的に、小・中学校ともに1学年2学級以上、適正な学級規模として1学級20名以上が望ましいというお話が前回出ていたかと思うんですが、そのあたりのところいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私の勘違いかもしれませんが、1つは漢字なんですけど「グループ編成」の「成」は、「制度」の「制」ではないですかね。「学級編制」のときは、「制度」の「制」を使うんですけども、そういう集団を編制するときにも「制度」の「制」ではないかと思います。</p> <p>それからもう1つ、私も通常学級が1学年2学級以上というのが望ましいとは思いますが、特別支援学級のことが配慮されていないように見えるのはちょっと辛いなと思います。国の方は、特別支援学級も含めて小・中学校ともに12学級以上18学級以下となっていますが、そこがちょっと引っかかる場所です。自分としては、通常学級で2学級以上というのが、学校規模としては適正かなというふうに思うのですが、特別支援学級のこととも配慮して、12学級以上という下限だけ決めて18学級よりもっと大規模でも構わないと思います。ご検討いただけたらと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。そうすると小学校12学級以上、中学校6学級以上、ということになるかと思うんですが、そこも事務局の方でご検討いただけ</p>

	<p>ればと思います。他にいかがでしょうか。</p> <p>人数のところはよろしいですか。「1学級、20名以上が望ましい」というところはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>数字は結構独り歩きしがちなので、数字を示すと読まれた方が「なぜ？」というところが多分、自然に出てくるのかなと思います。さっき委員さんがおっしゃったことと私も同じ考えです。学校は、通常学級と特別支援学校ありますので、それを合わせた記述の方がいいのかなと思いました。それと、20名という基準なんですけど、じゃあ25名ではいけないのかというような話も当然出てくると思います。私も初めてこの20名という数字を見て、20名でいいと思うのですが、なぜ25名ではいけないのかという話が出てきたときの説明ができればいいと思います。</p> <p>それから、小規模校の基準ということなんですけど、国が示しているのは当然大規模校もあります。今から人口が急激に増えて子どもたちの数が増える可能性は非常に低いと思うんですが、大規模校についてはどうとらえていくかという議論もあるかなというふうに思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。上限の部分も加えた方がということですね。ちなみに何人ぐらいというふうに、国が示した基準でというところでもよろしいでしょうか。確かに数字の部分というのはそれだけが取り上げられて、議論されること多くなるかと思しますので、事務局の方でよろしくお願ひいたします。他にいかがでしょうか。この「2. 適正規模」のところですが、ご意見はございますでしょうか。また後で何か気がつかれることがありましたら、後で伺いたいと思います。</p> <p>では、「3. 丸亀市立学校の適正配置」ということで、(1)から(3)までありますので、順番に行きたいと思ひます。まず(1)安全な通学環境ということで、事務局の方で小学校の通学距離2.5キロメートル、通学時間40分と書いていただいています。中学校の方は、括弧書きで数字は入っていないので、具体的な数字も含めご意見いただきたいのですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>中学校については、国の基準は概ね2キロ以上であれば自転車通学ということになるので、上限は6キロ以内というそのままがいいのかなというふうに思ひます。</p> <p>国の基準は、小学校は4キロ、1時間以内ということなんですけれども、小学生が夏暑いときに4キロ歩くのはたいへんなのでもっと短くてもいい、という話が前回もあったと思ひます。そこで、小学生の徒歩のスピードは、時速4キロとして丸亀市内の小学校を考えてみました。午前中に4コマ入れなければいけないということで、どこの学校も1時間目の始まりを8:30とか8:20ぐらいにし、学校の玄関を開ける時間は7:40ぐらいです。</p> <p>なので7:50を目指して登校するよう指導しています。一方で、この1月の初め頃は、日の出が7:10ぐらいですから、日の出より前に家を出発するのはどうかと考えます。7:10に出発して7:50分に学校に着くと40分という</p>

	<p>ことなので、通学時間は40分ぐらいに納めるとというのが、積算根拠として妥当だと思います。通学時間に1時間要するとしたら、日の出前から出発しなければいけません。時速4キロで40分歩くと約2.67キロぐらいですから、2.5キロという国の基準は妥当なのかなと思います。小学校は国の基準よりも配慮しているということをも明記して、中学校もこのままでいいのかなというふうに私は思いました。</p> <p>中学校の距離に関しては、もうそのまま6キロでそのまま触れないで、小学校だけ、後半部分を記述するというふうにしたらどうかと思いました。通学距離を小学校4km中学校6kmとし、通学時間は概ね1時間以内が望ましいというところは残す。中学校はそれ以上触れないで、小学校だけ通学距離2.5キロ、通学時間が40分。40分を超える場合には、支援を講じると書いてはどうでしょうか。括弧の中の中学校の分は削除するという事です。以上です。</p>
会長	ありがとうございます。いかがでしょうか。事務局何かありますか。
事務局	検討いただいて、そのような内容でよろしいのであればそれをもとに、こちらでまた検討させていただきたいと思います。
会長	わかりました。いかがでしょうか他にご意見ございませんか。
委員	<p>私も中学校で長く勤めさせていただいたんですが、小学校はこういった基準も妥当かなというふうに思います。中学校で一番心配しているのは部活が終わって帰る時間なんですね。私の勤めていた学校は、通学距離が長い子で8キロだったので、バスで帰らなければいけないような状況もありました。下校時間については、交通事故も起こってましたので安全面から非常に心配なことが多かったです。中学校については、国が示す6キロで1時間という基準でいいのかなと思うんですけど、現実的に小学生は朝出る時間が暗くなるということあるんでしょうが、逆に中学生が冬場の帰る頃には真っ暗な中を帰らなければいけないという状況もあることをお考えいただけたらと思います。それで中学校に数字を入れるかどうかは、検討すべきかと思います。</p> <p>もう1点、「通学の支援を講じる」と明記すると、どういう支援が行われるのかなと自然に考えてしまいます。通学支援だから公共のバスを使うとか、スクールバスを出すとか、または、他にも支援があるかと思うんですけど、非常に大きな課題だと思いますので、「支援を講じる」ということをどう考えるかというところが気になりました。以上です。</p>
会長	いかがでしょうか。事務局いかがですか。
事務局	その支援について、具体的なご意見がお有りでしたら、お聞かせいただけたらと思います。具体的なことについては、今後再編整備等を行っていく

	<p>中で、それぞれの地域・学校に応じて検討していくものと思っておりますが、何かご意見があれば、よろしく申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼します。本校では、1.5キロ以上は自転車通学になっております。確認したところ、学校から一番遠い子で、5キロぐらいでした。なので、国が示した6キロ以内に家があることになるので、6キロでいいと思います。1時間以内という基準については、自転車で6キロだと1時間もかからない、30分ぐらいかなと思うので、概ね1時間以内という大きい幅で良いと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、この数字は国が示してる基準でもありますので、中学校に関してはそこを踏まえてということで、上の部分に書いてありますのであえて下で具体的な数字を上げずというご意見です。その方向で検討ということにさせていただきたいと思います。(1)のところよろしいでしょうか。</p> <p>では、「2. 地域と学校のあり方」ということで、コミュニティに関しての表記がございますけれども、これは前回もご意見いろいろいただいたところですので。いかがでしょうか。記述に関しましてご意見ありましたらちょうだいしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろと事務局が配慮されていると思いますので、私はこの文言でいいかと思ってます。よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。このコミュニティの部分について、PTAの委員の方々いかがでしょうか。学校と地域の間に入られていると思うんですが、何かご意見等ありましたらいかがでしょうか。</p> <p>では、この点に関しましては(2)は、特にご意見はないということですので「3. 島しょ部の学校」に関しまして、いかがでしょうか。実際、広島の小・中学校が再開校しましたが、その辺も踏まえて何かご意見がありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、「3. 丸亀市立学校の適正配置」全体について、(1)(2)(3)何かありましたら。</p>
<p>教育長</p>	<p>すみません、先ほど委員さんから「支援を講じる」という表現の仕方についてご意見を賜ったんですが、その意図をもう少しご説明いただいたらと思ひまして。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼します。私が勤務した学校は、校区が広く通学距離が遠かったものから、バス、小学校低学年はタクシー、中学校も遠方の子の下校時間には2車3車ぐらいに分けて配車するというので、保護者の方に理解していただいていた。登下校については、慎重にまた確実に計画し、きちんと登校・下校ができるということに非常に神経を使いました。支援とい</p>

	<p>うことでは、学校とか委員会がどういう形でできるのか、また遠方の子どもに対してどういう手当ができるか、というところは非常に重要だと思います。登下校は学校管理下になりますので、それも踏まえて支援のあり方みたいところが、今後の具体的な検討の中で議論の1つの視点になるかと思えます。丸亀市の場合は地域の状況がいろいろあると思えます。地域によっては遠くから通っている子もいます。中には通学距離が6キロを超えるような子もいて、自転車で40分50分以上かかるような子もいました。そのあたりの配慮をしながら、支援策を考えていく必要があると思えました。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>実は私も、以前勤めた学校が閉校する、複数の学校が統合するというようなことが校長時代にありました。その時に通学支援のあり方について、地域の方、保護者の方が議論をされているのを聞くような立場でしたけれども、2.5キロを超えると支援を講じるとなると、もうそれはそれでいくことになります。ただ、それに関係するご家庭もいれば、そうじゃないご家庭もいらっしゃるの、ここの表記の表現の仕方が出ると、どういうふうを受け取られるのかなあと考えていました。表現の仕方をどうしたらいいかなということを考えていたので、委員に説明をいただきたいと思いました。こちらもまた、検討させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>わかりました。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼いたします。(1)のところで「安全な通学環境」ということが出ています。記述は、距離と時間のことを中心に書かれているんですが、児童生徒の安全を考えると、子どもたちが通る通学路に、例えば自転車が通る幅が十分あるのか、通学路として本当に適切なのかという点で道幅の問題というのはよく議論されているかと思えます。高松市内でも、そこが確保されていないところの整備がされているところもあります。</p> <p>それと、先ほどのこととは少し違うかも知れませんが地域でボランティア的に行われているような見守り隊とかですね、不審者対策も含めて、安全を確保するための見守りにはいろいろな形があると思えます。</p> <p>ここでは通学距離が遠い子へのスクールバス、タクシーなどの経済的負担軽減など、経済的なことが当然一番に我々も頭に思い浮かぶんですが、やはり目の前の子どもたちの安全を考えないといけない。(1)の最後の方に負担を軽減するようにと書かれていますが、児童生徒の通学における安全面を十分に配慮した上で負担を軽減するということが大事だと思います。それは学校によって違うのかなと思えますので、あまり具体的に書き込みすぎるのも難しいかもしれません。その辺りも難しい点かと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。非常に重要な点だと思います。確かに、安全にそ</p>

	<p>して負担を軽減するような表現であれば、具体的に、どういう支援をしてくれるんだという話にはならないと思いますので、そのあたりもちょっと事務局、ご検討いただけるでしょうか。</p> <p>いかがでしょうか。大きな 3 番の、(1) (2) (3) ですが、他に何かございましたら、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは「4. 付記事項」のところですが、ここの部分、いかがでしょうか。3 行ほどの文章です。この委員会を最初に行うときに教育長や事務局から説明がありましたが、この会は具体的な統廃合というようなどころに入っていく話ではなく、私の思いとしては、会長をお引き受けするときに、その検討にしっかり入っていきましようというところでのこの委員会が始まりました。そのことは申し上げておきたいと思います。</p> <p>丸亀市の現状、それから、児童生徒の減少を見ていくと、今の時点でこれから検討してしっかり策を練っていくというのが重要だと思っております。近隣では、実はもう具体的に統廃合が出ておまして、大学のあるところでもですね、なかなか今大変な状況になっております。そこまでのところではなく、そうなる前に調整をしながら、知恵を出し合っということで、このような付記事項になりました。この辺り、ご意見いただければと思います。</p> <p>もっとこういうような記述をというようにことがあればいただければと思うんですが、よろしいでしょうか。</p> <p>大きな 1 から 3 までのところで、ある程度具体的なことは方向として述べられて、その上で、具体的な検討というのを速やかに、始めて進めてくださいというところが最後のところの文章です。もっと強く書けとかそういうご意見があったらそれはお受けしたいと思っておりますし、そのあたりどうでしょうか。忌憚のないご意見いただければと思います。</p>
委員	<p>先ほども出ておりましたが「2. 丸亀市立学校の適正規模」のところの、1 学級 20 名以上という数字は難しいなと思いました。今現在小学校の方で、35 人学級ということで、35 人です。つまり 35 人までは 1 学級ですが 36 人になると、18 人と 18 人です。18 人というのは 20 人以下です。ここの数字をどう書くかというのは難しいなと、いろんな問題があって、特別支援学級のこともあります。1 学年に 38 名いるんだけど特別支援学級に 4 名の子さんがいたとします。特別支援学級には、知的学級、自閉症・情緒学級などいろいろあって、特別支援学級は 2 学級とか 3 学級あるんだけど、通常学級は 1 とかいう学校も実際にあります。そのあたり、先ほど特別支援学級のことをどう踏まえるかという話も出ましたが、数字を見られていろいろ非常に悩ましい問題があるので、これが一番いいとはなかなか言いにくいんですが、またそのあたりも含めてご考慮いただけたらと。</p>
会長	
教育長	<p>人数のところは、本当に難しいところだと思うんですが。そのあたりもご検討いただければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>今の 35 人学級というのも、40 人から 35 人と、国の標準が変わってきているということ。これはもう、今後も変わっていくんだろうという気がするのですが。「1. 基本的な考え方」に書いたように、これからの社会を生きる子どもたちの、資質・能力というようなことから考えたら、ある程度の集団の規模がいるのかなあという観点から、ご意見がありましたらお願いしたいんです。そういう観点から、今の制度云々ではなくて、今までのご意見を踏まえて、20 というようなことが出てきているのかなと私は考えておるんですが。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね。例えば「原則として」みたいな言葉を前に入れて、「原則として 1 学級 20 名以上が望ましい」とする。原則に沿わない場合も出てくるかもしれませんが、もし理解をしてもらえるんなら、よく使われる言葉ですが、ご検討いただければと思います。</p> <p>答申案全体を通しましていかがでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>失礼します。数字のことがあったんですけど、非常にわかりやすく良い答申書ができたのかなというふうに思っています。</p> <p>それで最後の付記のどこなんですけど、今後、学校再編に向けた具体的な検討を「速やかに」進めて行くとなっていることが気になります。この学校適正配置に係る検討っていうのは、検討を始めてから方向性を決めるまでに、最低でも 2、3 年はかかると思います。私が勤務している市でも、それにかけた時間は本当に膨大でした。その市では島しょ部が休校じゃなく全部閉校に持っていった関係で、通学については非常に議論がなされ、何パターンも提示させていただきました。実は、今もある島には子どもはいるんですが、その子は今市内の学校に通学しています。そのときの支援については、何ができるかということで非常に悩ましかったですけど、その子が今、元気に通学できていて良かったなと思っています。</p> <p>丸亀市でもそういったことも含めて、今後検討を進めていくと思います。統廃合が目的ではないということですが、具体的な案を練っていくには中長期的な視点を持つことも必要です。また、第 1 回目で各学校の児童生徒数を示していただきましたけども、今後変動があるかもしれません。どういう形で進めていくかというのは、今回の議論と別なんですけど、やはりそのスケジュール感は、今後大きな課題かなというふうに思っております。私に何ができるかは分からないんですけど、本日お集まりの皆様には、また委員会といろいろ知恵を出し合っていくような場がまた必要になるのではないかと考えています。そういったスケジュール感を持つということで、ご検討いただけたらありがたいなというふうに思います。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。他に何か。</p> <p>先ほど自校の話が出たので、南中校区を調べると、校区の南の端まではだ</p>

<p>会長</p>	<p>いたい 7 キロあったんですが、自転車通学なので概ね 1 時間以内には行けるのではないかと思います。そういう解釈をするのであれば、市周辺の校区でも 1 時間以内では通って来れるっていうのではなかろうかと思うんですけども。以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>やっぱり結構、距離があるんですね。7 キロですか。</p> <p>いかがでしょう。他にございませんか。よろしいでしょうか。そうしましたら、ご意見もないようですので、本日の答申案について皆様からいただきましたご意見をもとにしまして、事務局の方でさらなる修正を加えた答申案をご提示いただきたいと思います。その上でまた、皆さんと協議をしていきたいと思っております。他にご意見等ないようでしたら、これで議事は終了させていただきたいと思います。それでは貴重なご意見ありがとうございます。進行事務局の方にお返しいたします。たくさんのご意見ありがとうございました。</p> <p>皆様からいただきましたご意見をもとに、また修正をいたしまして、第 5 回に提示させていただけたらと思っております。</p> <p>ここで、事務連絡をいたします。次回の第 5 回検討委員会は、2 月 19 日木曜日の 10 時から 11 時 30 分を予定しております。</p> <p>後日、お電話にて皆様のご予定をお聞きした上で、最終調整を行い、案内文書を発送させていただきます。次回も出席くださいますようお願いいたします。</p> <p>以上で第 4 回丸亀市立学校適正配置等検討委員会を終了いたします。お気をつけてお帰りください。</p>